

(8)多様な人材の活躍・育成：多様な人材の活躍・育成の推進

村が考える住民の皆さまの幸せのかたち

「誰もが多文化共生を学ぶ機会がある」
「グローバル化に対応できる人材の育成」

施策の目的

日本人と外国人の垣根を越えた相互理解に努め、誰とでもコミュニケーションが取れる、多様な人材が活躍する村を目指します。

現状を踏まえた課題

- ・国際社会に貢献できる、グローバルな視点を持った人材の育成が求められています。
- ・学校教育で培った英語を生かせる場として、海外派遣を進めていくことが求められています。
- ・住民相互の理解を深めるとともに交流を促進し、多様な人材が活躍できる環境づくりを進める必要があります。

▶取り組みの体系

【多様な人材の活躍・育成】 多様な人材の活躍・ 育成の推進	グローバル人材の育成
	さまざまな国の文化に触れる講座の開催
	広報等における対応の充実

主な取り組み

① グローバル人材の育成

中学生の海外派遣や小中学生向けの英語教室を継続し、国際社会で活躍する人材育成に取り組みます。

② さまざまな国の文化に触れる講座の開催

外国人の生活様式や考え方の理解を深めることを目的として、講座等を開催し、外国人への理解を深めます。

③ 広報等における対応の充実

村広報誌や村公式ホームページにおいて外国人向けのページを設定し、村情報の発信力を強化します。

計画指標	基準値 (令和 3 (2021)年度)	目標値 (令和 9 (2027)年度)
① 海外派遣事業への参加率 ・海外派遣事業を継続して実施し、令和 9 (2027) 年度の参加率は 98%とすることを目標とします。	—	98%
② 英語教室の参加者数 ・令和 3 (2021) 年度の実績 (年 75 人) を令和 9 (2027) 年度は約 30% (25 人) 増やすことを目標とします。	年 75 人	年 100 人
③ 異文化体験講座の参加者数 ・令和 9 (2027) 年度までに異文化体験講座を実施し、以降、年 40 人の参加を目標とします。	—	年 40 人
④ 外国人向けホームページの設定 ・令和 9 (2027) 年度までに設定します。	—	設定済

住民・行政の協働に向けて

▶**行政**：外国人住民と日本人住民双方の理解を促すべく、取り組みを進めます。

▶**住民**：相互理解に努め、積極的な交流を図ります。